

## 保存担当学芸員研修 (⑤保05-09-4/5)

### 1) 保存担当学芸員研修

期間：2008（平成21）年7月13日（月）～24日（金）、参加者数 31名

近年、各地方において博物館・美術館等の数が増加し、施設が近代化されるとともに、資料の保存への関心が高くなってきている。しかしながら、保存科学の知識を習得しようとしても適切な学習の場や教材がないのが現状である。そこで本研究所では、資料の保存に携わる学芸員がその職務に必要な知識と技術を持てるよう研修を行おうとするものである。この趣旨のもと、第26回保存担当学芸員研修を開催した。

7月13日（月）

石崎武志「保存科学 総論」

佐野千絵「保存環境 各論 一文化財の材質・構造」

朝賀浩（文化庁）「保存環境 各論 一文化財公開施設の設計一」

犬塚将英「保存環境 各論 一温湿度一」

7月14日（火）

犬塚将英・吉田直人「保存環境実習 一温湿度測定機器の取扱い一」

木川りか「生物被害 概論」

佐野千絵「保存環境 各論 一室内汚染一」

吉田直人・犬塚将英「保存環境 実習 一室内汚染の測定法と環境調査一」

7月15日（水）

木川りか「生物被害 各論 一カビ一」

山本記子（保存修復支援技術者 絵画・書跡）・木川りか「生物被害〈実習〉一カビの除去一」

山本記子（保存修復支援技術者 絵画・書跡）「劣化と保存 各論 一日本画一」

吉田直人「保存環境 各論 一光と劣化・照度基準一」

三浦定俊「博物館の設備 一防災・防犯一」

7月16日（木）

木川りか「生物被害 各論 一文化財害虫一」

小峰幸夫（文化財虫害研究所）・木川りか「生物被害〈実習〉一文化財害虫同定一」

神庭信幸（東京国立博物館）「東京国立博物館における講義と見学」

7月17日（金）

北野信彦「劣化と保存 各論 一漆工品一」

三浦定俊「調査手法 各論 一構造調査一」

ケーススタディテーマ打ち合わせ

7月21日（火）

犬塚将英「温湿度実習解説」

土屋裕子（東京国立博物館）「劣化と保存 各論 一修復材料一」

加藤雅人「劣化と保存 各論 一紙一」

早川泰弘「保存環境 各論 一大気汚染の影響一」

早川泰弘「調査手法 各論 一材質調査（無機物）一」

7月22日（水）

「環境調査実習 一ケーススタディー」（於：千葉県立中央博物館）

7月23日（木）

歌田眞介（東京芸術大学名誉教授）「劣化と保存 各論 一油彩画一」

山口孝子（東京都写真美術館）「劣化と保存 各論 一写真一」

高妻洋成（奈良文化財研究所）「劣化と保存 各論 一考古資料一」

石崎武志・佐野千絵・木川りか・吉田直人・犬塚将英「ケーススタディ報告」

7月24日（金）

吉田直人「調査手法 各論 一材質調査（有機物）一」

石崎武志「劣化と保存 各論 一屋外の文化財一」

研修参加者名：伊藤英之、植野比佐見、大西稔子、加藤光男、木戸脇直、沓名貴彦、小林彩子、小林祐子、米谷博、佐々木美帆、穴倉恵美子、篠原達也、陳岡めぐみ、田島奈都子、立松由美子、塚原晃、徳永佳世、長井裕子、永塚俊司、永用俊彦、日高和広、平川信幸、廣瀬就久、福島修、藤井亜紀、舩田隆満、村山閑、守岡利栄、山田光洋、山中由紀子、吉留徹

所属：国立歴史民俗博物館、文化庁文化財部美術学芸課、国立西洋美術館、岩手県立博物館、古河歴史博物館、那珂川町馬頭広重美術館、埼玉県立嵐山史跡の博物館、千葉県立中央博物館、茂原市立美術館・郷土資料館、東京都現代美術館、三井記念美術館、五島美術館、横浜市ふるさと歴史財団、北方文化博物館、金沢21世紀美術館、福井県立美術館、山梨県立博物館、安曇野ちひろ美術館、岐阜県現代陶芸美術館、斎宮歴史博物館、栗東歴史民俗博物館、神戸市立博物館、姫路市立美術館、和歌山県立近代美術館、島根県立古代出雲歴史博物館、岡山県立美術館、広島城、土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム、坂の上の雲ミュージアム、宮崎県立美術館、沖縄県立博物館・美術館

## 2) 博物館・美術館等保存担当学芸員研修フォローアップ研修

日程：2008年6月22日、会場：東京文化財研究所、参加者：69名

1981（昭和56年）より毎年、当研究所で開催している博物館・美術館等保存担当学芸員研修の修了者数は500人を超えた。修了生の尽力によって、収蔵・展示環境は大きく改善し、またそのための知識も広く認識されるに至った。しかし、この間にも、科学の進歩とともに、館内環境改善のための技術は発展し続けている。このような時代の進展に伴い、従来とは異なる知識が学芸員に要求されている。本研修では、保存担当学芸員研修終了者を対象に、その職務に必要な最新の知識を常に持つことを目的に、再研修を行おうとするものである。

### プログラム・講師

石崎武志「保存環境総論」

犬塚将英「保存環境各論『温湿度』」

佐野千絵「保存環境各論『空気汚染』」

吉田直人「保存環境各論『照明』」

## (3) 資料保存地域研修

博物館・美術館などの文化財公開施設における資料保存は、保存を担当する学芸員の努力によっていることはもちろんであるが、学芸員以外の館長、事務官や警備員、監視員、空調機器の管理・保守作業員など、博物館の様々な業務に携わる多くの人々の理解がなければ、円滑に進まない。本研修は文化財保護に関する知識を、文化財公開施設に勤務するできるだけ多くの職員に短い日数で学んでもらうため、各地の博物館協議会などの協力を得て1998（平成10）年度より開催するものである。

[第14回] 2009（平成21）年11月27日・28日、於：愛媛県美術館

共催：愛媛県博物館協会・えひめミュージアム研究会、参加者：51名

### プログラム・講師

佐野千絵「保存環境概論」

犬塚将英「温湿度の制御と管理」

吉田直人「空気汚染の制御と管理」

吉田直人「照明の制御と管理」

佐野千絵「これからの生物被害防除法」